

事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年3月8日

事業所名 uooh!療育ラボ

職員数12名回収数12名 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	事業所としての改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			運動量が確保できない時は外療育人も入れている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			子どもの状況に応じてプロンプトも入れてやっている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			2階にある為、たえず意識している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			コロナ対策もしっかりとっている。備品も故障があればすぐに対応している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			PDCAサイクルに基づき積極的に改善している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			担当職員が丁寧に対応している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		毎回しっかり対応しているが引き続き対応していきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後取り組む予定
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修の機会を多くとっており必要に応じて個別でも対応している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			ASQ3を使っている為引き続き使っていく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			アセスメントツールを使ってしっかりと支援内容を確保しつつ保護者のニーズも入れて療育している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			引き続き行われている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			保護者のニーズと子どもに合ったプログラムになっている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			研修も多く取りスタッフ間で共有しながら工夫している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			集団活動もスケジュールに入っているためバランスが良い
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日々確認している為継続してやっていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			日曜日の午後に共有する機会をもっている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			必要に応じて細かく記入し共有している
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にやっている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者など主に参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		電話や区主催の講演会に参加し連携を深めている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			利用がありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			利用がありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者からの依頼については対応している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者からの依頼については対応している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		電話、見学などで対応している
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		ニーズに応じて対応していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		個別で担当者と連絡を取り合っている為継続してやっていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		フィードバックを通じて共通理解をもっている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		個別で対応している
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		保護者待合に設置し、契約時に伝えている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		引き続きしていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要に応じて対応。フィードバック時に対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		区主催の説明会・講演会に参加していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		頻繁にあるが迅速に対応しているので継続してやっていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	ニーズがあれば会報も作っていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		厳重に対応している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		商店街の活動を通じて地域の方とも交流している。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			3月に実施。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			3月・9月に実施。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			アンケートにて回収している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アンケートにて回収している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			終礼時に共有し、記録に残している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			空き時間に対応
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			今後そのような対応が必要な場合は対応していく。